

書面開催結果

会議名	令和3年 第1回宇都宮市廃棄物減量等推進審議会【書面開催】
開催日時	令和4年2月17日（木） ※新型コロナウイルス感染症の感染予防のため書類開催
出席者 (20名)	黒子 英明委員, 小平 美智雄委員, 菅原 一浩委員, 茂木 祐佳里委員, 渡辺 通子委員, 出口 明子委員, 樋口 徹委員, 浅海 伸子委員, 三坂 茂晴委員, 野澤 克子委員, 増淵 祥子委員, 上野 すみ子委員 海老原 輝委員, 高橋 克彦委員, 津浦 幸雄委員, 平河内 一雄委員, 河本 聖業委員, 深澤 智之委員, 大八木 延子委員, 高崎 光子委員
公開・非公開	公開
会議概要	1 議事 (1) 宇都宮市廃棄物減量等推進審議会 会長の選出について ⇒ 会長黒子委員について了承 (2) 令和4年度宇都宮市一般廃棄物処理実施計画（案）について ⇒ 議事について了承

委員意見

1 別紙1について

① リサイクル推進員について	
増淵委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当地域での推進員が見学以外活動している事はない（会長は別） もっと日常のごみの出し方の点検や集団回収の促進などをお願いできないだろうか。 捨てられ輸出された衣類が南米の海岸に野ざらしになって積み上がっている映像を見た。 大変ショックだった。 <p>【回答】</p> <p>リサイクル推進員には、地域のごみ問題のリーダー役としてごみの減量化に対する普及啓発や、ごみの分別・排出マナーの指導、環境美化の推進に関する活動をしていただいております。</p> <p>引き続き、リサイクル推進員研修会の場などを活用し、その役割を再度説明するなど、さらなるリサイクル推進員の活動の支援に努めてまいります。</p>
② 基本施策の取組指標について	
大八木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年、農家で古米を大量に処分したいと話がありましたので、フードドライブをご案内しました。 取組指標の「市が実施したフードドライブの参加者数」が前年度比で7倍近く増加した実績は素晴らしい取組の成果だと思う。 <p>【回答】</p> <p>フードドライブ制度について周知いただきありがとうございました。</p> <p>令和3年よりフードドライブの本庁舎における通年実施を開始するとともに、リサイクル推進員研修会などに併せて実施したためこのような結果となりました。令和7年度の目標達成に向けて、今後とも参加しやすい場の提供に努めてまいります。</p>

2 別冊について

① 5 ページ エコスラグ資源化について	
茂木委員	<ul style="list-style-type: none"> 資源化量でエコスラグの令和4年度排出量が大きく増えたのはなぜか <p>【回答】 令和4年度搬出量は、令和3年3月に策定した「一般廃棄物処理基本計画」における推計値であり、これまで、エコパーク板戸の埋立地の土堰堤整備のために活用していた焼却主灰などを、エコパーク板戸の埋立終了に伴い、スラグ化していく計画であるため、エコスラグの搬出量が増加しているものとなります。</p>
② 9 ページ 食品ロスの推進について	
小平委員	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍からの経済回復が見込まれることから食品ロス削減の取組については、飲食系事業者等との連携によるドギーバックの活用等、ポストコロナを見据えた取組も必要ではないか。 <p>【回答】 食品の食べ切り・使い切りを推進する「もったいない残しま10！」運動の趣旨に賛同する小売店や飲食店等を登録し、各店舗にて食品ロス削減に取り組む「もったいない残しま10！運動」協力店を推進するとともに、令和4年度よりエコショップ・エコレストラン認定制度において、食品ロス削減に関する認定項目等を新たに追加するなど、食品ロスの発生抑制に向け事業者と連携してまいります。</p>
③ 9 ページ フードドライブの取組について	
高崎委員	<ul style="list-style-type: none"> 市に常設の窓口が設置されていることは大変よい事だと思うが、私はある団体のフードドライブに参加した。多くの人が参加していた。それは手軽に参加できた。わざわざ交通費を支払い、重い荷物を持って市役所までいかない。この参加人数を取組指標にするには疑問がある。私が参加した団体の人数もカウントされる方法はないのだろうか。 <p>【回答】 日ごろから、ごみの削減に向けた取組を行っていただきありがとうございます。 フードドライブにつきましては、市だけでなく様々な団体や事業者が実施することで、市民の皆様にとって身近なものとなり、それぞれが参加しやすい機会を増やすことで、取組が推進されるものと考えております。 また、様々な団体や事業者が主体となって行う市内すべてのフードドライブの件数を把握することは、実施者にとっても負担となり、市としても困難であることから、市が主体であるものを取組指標といたしました。</p>
④ 9 ページ 事業者への食品ロス発生抑制や食品廃棄物の再生利用の周知啓発について	
高崎委員	<ul style="list-style-type: none"> 「宇都宮市一般廃棄物処理基本計画（令和3年3月策定）」では、資料42において事業者意識調査結果では、500事業者に対して回収結果が164件となっており、少ないか？ <p>さらに資料48の取組について、「特に取り組んでいることはない」が一番多く、「もったいない残しま10！運動」協力店に登録しているのは0であった。 周知啓発したとは思えないと思う。 コロナ禍かもしれないが、評価、課題、令和4年度の実施計画の取組にこの結果についての考察を入れる必要があるのではと思う。</p> <p>【回答】 現在、事業者に対しましては、ごみ適正処理に関する戸別訪問指導時などに食品ロス発生抑制や食品廃棄物の再生利用についての周知啓発をしているところです。 令和2年9月に実施した意識調査は「一般廃棄物処理基本計画」を策定するために、サービス業、医療・福祉事業など様々な業種を対象に500件配布し、164件から回答をいただきましたが、そのうち「もったいない残しま10！運動」の対象となる飲食店からの回答は16件で、分母が小さいものとなってしまいました。</p>

	<p>今後、「意識調査(アンケート)」を実施する際は、その目的や必要性を分かりやすく記載するなど、できるだけ自発的にご回答いただけるよう、また、必要な数字を抽出できるよう、実施手法や質問項目を工夫してまいります。</p> <p>今後とも、多くの事業者に食品ロス発生抑制や食品廃棄物の再生利用に向けた取り組みを実施していただけるよう、ごみ削減につながる具体的な手法についての周知啓発に努めてまいります。</p>
⑤ P10 プラスチックごみの発生抑制の推進について	
高崎委員	<ul style="list-style-type: none"> 「もったいないレジ袋削減運動」はすでに国民の間に定着しており、かえって令和4年4月施行である「プラスチック資源循環促進法」を広く周知啓発することに力を入れるべきではないだろうか。
	<p>【回答】</p> <p>委員ご指摘の通り、「プラスチック資源循環促進法」が施行となりますことから、これまでも、レジ袋削減だけでなく、マイボトルの推奨など使い捨てプラスチックの使用削減について周知しておりましたが、今後も様々な機会や場、媒体を活用し周知を強化するとともに、令和4年度よりエコショップ等認定制度において、「プラスチックごみ削減」に関する認定項目を新たに追加するなど、事業者と連携して推進してまいります。</p>
⑥ 10ページ リユース品の利用促進について	
高崎委員	<ul style="list-style-type: none"> 方策を検討するのみでなく、市井ではICTが活用されており、実践と定着を図るところまで取組んでほしい。
	<p>【回答】</p> <p>市が主体となって取り組んでいる粗大ごみの再生品販売につきましては、ホームページ上での申し込みを開始し、利便性を向上するなど、リユース品の利用促進に取り組んでおります。また、ICTを活用した民間事業者が主体のリユース品に関する様々な取り組みがありますことから、引き続き様々な機会や場、媒体を活用してこれらの周知啓発をすることで、行動変容へつながるよう努めてまいります。</p>
⑦ 7ページ ごみ分別アプリ「さんあ〜る」のダウンロード数について	
高崎委員	<ul style="list-style-type: none"> 13ページでICTの活用とあるが、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」を取組指標とするなら、環境出前講座や各種イベントにおいて、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」のダウンロード方法やその活用方法を教えるような取組をしてはいかかがか。 また、学校教育でも一人一台パソコンを持ち授業を行っていることから、4年生の学習の折、「さんあ〜る」のダウンロード方法や活用方法を指導してはいかかがか。
	<p>【回答】</p> <p>「さんあ〜る」はスマートフォン専用アプリであるため、学校教育で直接活用することは出来ませんが、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」につきましては、分別講習会や各種イベント等において、市民の皆様にごみ分別アプリ「さんあ〜る」のダウンロード方法や機能等を説明し、利用を促しているところであります。</p> <p>今後も、様々な機会や場を活用してごみ分別アプリ「さんあ〜る」を周知することで利用者の拡大を図り、ごみ分別精度の向上に努めてまいります。</p>
⑧ 21ページ 廃食用油の資源化について	
小平委員	<ul style="list-style-type: none"> 廃食用油はバイオ燃料への活用等循環型エコエネルギーへの活用が注目されていることから、さらなる民間事業者との連携を推進する必要がある。
	<p>【回答】</p> <p>廃食用油の資源化につきましては、様々な機会や媒体を活用した事業の周知を実施するとともに、市内のスーパーマーケット等と連携し、新たな回収拠点の確保に努めているところであります。</p> <p>廃食用油のエネルギーへの活用につきましては、資源化事業者の検討など課題がありますことから、今後、調査研究してまいります。</p>

⑨ 22 ページ 溶融スラグの資源化について	
小平委員	<ul style="list-style-type: none"> 溶融スラグの最終処分量に大幅な増加が見られることからエコスラグの更なる資源化が必要ではないか。
	<p>【回答】</p> <p>これまで、エコパーク板戸の埋立地の土堰堤整備のために活用していた焼却主灰などを、エコパーク板戸の埋立終了に伴い、スラグ化しているために、焼却主灰の最終処分量が減少し、代わりに溶融スラグの最終処分量が増加しているものとなります。</p> <p>また、令和2年度からの溶融スラグの最終処分量には、エコパーク下横倉最終処分場において覆土材として活用している分を含んでおります。</p> <p>なお、近年、新型コロナウイルス感染症の影響と思われる民間事業者からの需要減少により、溶融スラグ（エコスラグ）の売却量が減少しておりますが、溶融スラグ（エコスラグ）の有効利用につきましては、宇都宮市エコスラグ有効利用指針に基づき実施していくとともに、引き続き、栃木県エコスラグアスファルト合材利用連絡会議等を通じて、エコスラグのアスファルト合材やコンクリート二次製品への活用を促すなど、より一層の利用促進を図ってまいります。</p>

3 その他意見

① CP 茂原の火災について	
茂木委員	<ul style="list-style-type: none"> 今回のクリーンパーク茂原の火災が凶らずも廃棄物減量への意識付けの機会となった。計画案以上の排出量の減、資源化量の増となるよう市民の1人として取り組みたいと考える。まだまだ市民・事業者の皆様はセンターが稼働停止していることの深刻さを理解しておらず、更なる周知が必要と考える。 <p>また、このような事態となつては剪定枝や落ち葉などは燃やしても良いのではといったようなお考えの方もおり、早急に市の見解を発信された方が良いと考える。</p>
出口委員	<ul style="list-style-type: none"> このたびのクリーンパーク茂原での火災につきましては、お見舞い申し上げますとともに、日頃クリーンセンターやそれに関わる業務を円滑に進めていただいていることのありがたさを感じている次第です。またそれと同時に、私たち市民にとって資源循環化を考え促進する契機につながられたらと思います。よろしく願いいたします。
大八木委員	<ul style="list-style-type: none"> クリーンパーク茂原の火災につきましては心よりお見舞い申し上げます。今年度4月にはプラスチックごみ削減に向け新たな取組である「プラスチック資源循環促進法」が施行され、従来の「プラスチック容器包装」と新設の「プラスチック資源」が一括回収となれば「可燃ごみ」の量がかなり減量化できる明るい兆しが見えていただけに残念です。 <p>焼却施設の復旧には半年以上かかる見通しのようですが、1日も早い稼働を願いつつごみの減量に協力してまいります。</p>
浅海委員	<ul style="list-style-type: none"> クリーンパーク茂原の火災の処理、大変なことと思います。市民一丸となって乗り切って行かなければなりません。市民ができることを分かりやすく発信していただきたいと思っております。
菅原委員	<ul style="list-style-type: none"> 今回のクリーンパーク茂原の火災に対しましての環境部の皆様のご尽力に感謝申し上げます。引き続き宜しく願いいたします。
増淵委員	<ul style="list-style-type: none"> クリーンパーク茂原の火災は思っていた以上に被害が大きいことをテレビのニュースで知り驚いた。迅速に市民の協力をあおぐ必要がある。
	<p>【回答】</p> <p>この度の火災につきましてはご負担・ご心配をおかけしており申し訳ありません。また、ごみの削減協力依頼につきましては、ご賛同いただきありがとうございます。</p>

クリーンパーク茂原の稼働停止に伴う影響やごみ5割削減協力依頼につきましては、市ホームページや新聞折込チラシだけでなく、新聞やテレビなどでも周知していただいているところですが、今後とも様々な媒体を活用し周知することで、ごみ削減に向けた意識啓発、行動変容を促進してまいります。

野外でごみを燃やすことは法律で禁止されており、現在配布しているチラシなどでも周知しているところではありますが、市民に漏れなく周知ができるよう、5割削減のお願いと併せて継続的に周知してまいります。

② プラスチック製品分別収集について

浅海
委員

- ・ 富士見が丘生活学校では、2021年12月出前講座「分別講習会」を開催しました。お世話になりました。プラスチック容器の分別で迷うことが、ままありましたが、サンプルを見ながら理解することができた。
まだ、ごみステーションを見ると、可燃物の中にプラスチックの容器がたくさん見られます。1人ひとりの意識が大切だと思います。いつの日か容器プラスチックだけでなく、プラスチック全般を一括収集できればだいぶ違うのかもかもしれません。

【回答】

委員ご指摘の通り、プラスチック製品を含めたプラスチック資源を分別回収することは、焼却ごみの削減に向けた有効な手法の一つであると認識しておりますことから、令和4年度において、本市における、これまでのプラスチック製容器包装に加え、バケツなどのプラスチック製品の資源化に向けその導入効果について調査してまいります。

③ フードドライブについて

浅海
委員

12月フードドライブを行い、子ども食堂へ届けました。3月にまた行う予定にしております。

【回答】

この度は食品ロス削減の取組にご協力いただきありがとうございました。ご家庭で余っている食品を有効活用することで、食品ロスの削減につながりますことから、今後ともよろしく願いいたします。

④ 令和3年3月作成「宇都宮市一般廃棄物処理基本計画」について

浅海
委員

- ・ 読みやすく大変良い冊子だと思います。特にコラムの箇所は楽しく読ませていただきました。

【回答】

ありがとうございます。今後とも市民のみなさんにとって、分かりやすく手にとっていただけるような冊子やチラシの作成を心がけてまいります。

⑤ 外国人への周知について

渡辺
委員

- ・ ごみステーションを利用する外国人の方の出し方がひどい場合があるので、住み初め時にしっかりとした指導や周知のためのパンフレットなどを渡していただきたい。

【回答】

外国人の皆様に対しましては、転入時において、8言語に対応した外国語版の「資源とごみの分け方・出し方（A3版チラシ）」を配布するとともに、在留ビザ申請時においても周知できるよう、東京出入国在留管理局宇都宮出張所に、スマートフォン向けアプリ「さんあ〜る」の外国語版チラシを設置しているところであります。

また、A3版チラシについては、ごみ減量課にてもお渡ししており、今後とも外国人への周知に努めてまいります。

⑥ 過剰包装について

平河内
委員

- ・ お盆、年末年始等のギフトの包装はエコ包装を推奨しているが、まだ半分程度にとどまっている。完全包装にするとより多くの包装紙を使う。依頼が多いのは年配の方や会社関係等です。この方々にもっと啓発していくべきと考えます。

【回答】

市では把握することが難しい、店頭における実情を教えていただき、貴重なアドバイスをありがとうございました。

本市では、エコショップ等認定制度において、簡易包装などの取組内容を盛り込み、ごみの発生抑制を推進しているところであります。

今後も、エコショップ等認定制度を周知するとともに、今回いただいたご意見を踏まえながら、分別講習会や出前講座等において周知啓発してまいります。